

TOSHIBA

東芝電子レンジ 家庭用

取扱説明書

日本国内専用
Use only in Japan

形 名

ER-SS17A ER-SS17B

もくじ

準備と確認

安全上のご注意	1～5
加熱のしくみ	5
使える容器・使えない容器	6
各部のなまえとはたらき	7

調理のしかた

自動調理	
ごはんやおかずをあたためる	8
上手にあたためるために	9
飲みものをあたためる	10
お弁当をあたためる	11
手動調理	
レンジで加熱する	12
レンジ加熱の設定時間の目安	13

こんなときは

お手入れのしかた	14
修理を依頼される前に	15
あたため・解凍が上手にできないとき	16
こんな表示が出たときは	16
ブザー音の消しかたと戻しかた	16
保証とアフターサービス	17
仕様	裏表紙

- このたびは東芝電子レンジをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- この製品は一般家庭用です。業務用として使用しないでください。
- この製品を安全に正しく使っていただくために、お使いになる前に取扱説明書をよくお読みになり十分理解してください。
- お読みになったあとはお使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
- 保証書を必ずお受け取りください。

初めに必ずしましょう!

STEP

1

「安全上のご注意」を読む (1~5ページ)

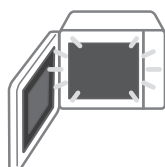
*必ず守っていただきたいことが記載してあります。



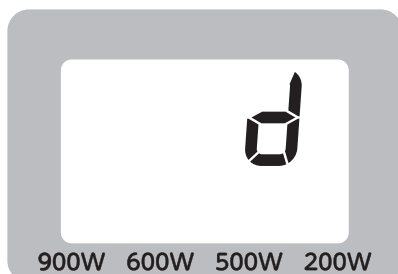
STEP

2

電源プラグを差し込み、とびらを開閉する



とびらを開けると
電源が入ります



* **d**が表示された場合は、デモモードになっています。
解除してから使ってください。
(16ページ「こんな表示が出たときは」参照)

省エネ機能

オートパワーオフ

使用していないときは自動的に電源が切れる機能です。

■ 15分以上操作をしなかったとき、自動で電源が切れます。([0]表示が消えます)



とびらを開けると電源が入ります

表示部に「0」が表示されます(電源プラグを差し込んだだけでは電源は入りません)

安全上のご注意

安全のために必ずお守りください

● 人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

■ 記載事項を守らない使いかたで生じる危害や損害の程度を、区分して説明しています。

■ お守りいただく内容を、図記号で区分して説明しています。



危険 「死亡」や「重傷」を負うおそれが特に高い内容



してはいけない「禁止」内容



警告 「死亡」や「重傷」を負う可能性が想定される内容



「指示を守る」内容



注意 「軽傷」や「家屋・家財などの損害」が発生する可能性が想定される内容



「注意をうながす」内容

準備と確認

安全上のご注意

内部には高圧部があります



危険

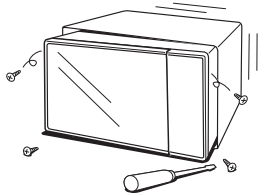


分解禁止

自分で分解・修理・改造をしない

火災・感電・けがの原因になります。

修理は、お買い上げの販売店または東芝生活家電ご相談センターにご連絡ください。

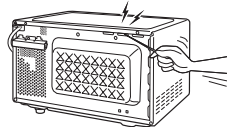


禁止

吸気口・排気口・穴などにピンや針金などの金属物または異物、指を入れない

感電・けがの原因になります。

もし、異物が中に入ったときは、電源プラグを抜き、お買い上げの販売店または東芝生活家電ご相談センターにご連絡ください。



電源プラグ・電源コード・コンセントの取り扱い



警告



コンセントを単独に使用

電源は、交流100Vで、定格15A以上のコンセントを単独で使用する

交流100V以外で使ったり、コンセントを他の器具と同時に使ったり、延長コードを使うと火災・感電の原因になります。



禁止

傷んだ電源コードや電源プラグ・ゆるんだコンセントは使用しない

火災・感電の原因になります。



禁止

電源コードや電源プラグを傷つけない

加工する、排気口などの高温部に近づける、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、束ねる、重いものをのせる、挟み込むなどすると、コードが破損し、火災・感電の原因になります。



注意

電源プラグは、根元まで確実に差し込む

感電や発熱による火災の原因になります。



ほこりを取る

電源プラグのほこりは、乾いた布で定期的に取り除く

ほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因になります。



プラグを持って抜く

電源プラグをコンセントから引き抜くときは、電源プラグを持って引き抜く

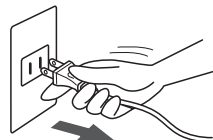
コードを持って引き抜くとコードが破損し、火災・感電の原因になります。



コンセントから抜く

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

絶縁劣化により漏電火災の原因になります。



据え付けるとき

警告



包装材を取り除く

使用前に、包装材はすべて取り除く

取り除かないと運転中に発火し、火災・やけどの原因になります。



包装用ポリ袋は、幼児の手の届かない所に保管または廃棄する

頭からかぶるなどすると、口や鼻をふさぎ窒息する原因になります。



禁止

水のかかるところや蒸気の出る機器および火気の近くでは使用しない

火災・感電・漏電の原因になります。



禁止

燃えやすいもの、熱に弱いものを本体に近づけない

スプレー缶などを近づけない

焦げや、火災の原因になります。

スプレー缶は引火や破裂のおそれがあります。たたみ・じゅうたん・テーブルクロスなどの上に置いたり、カーテンなどを近づけないでください。

また、熱に弱い家具・コンセントのある壁面・熱に弱い壁材に排気口を向けて設置する場合は、熱変形するおそれがあるため、遠ざけてください。



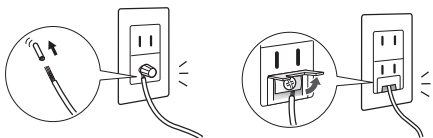
アースを接続する

アースを確実に取り付ける

故障や漏電のときに感電するおそれがあります。アース端子がないとき、アース線の長さが足りないときなどは、お買い上げの販売店または東芝生活家電ご相談センターにご相談ください。

●アース端子を使う場合

- アース線が本体のアースねじにしっかり接続していることを確認してから、アース線先端の皮をむき、芯線部をアース端子につなぐ。電源プラグを抜いた状態で接続してください。



ふたつきの場合は、開けてつなぐ。

●アース端子がない場合

- アース工事(電気工事資格者によるD種接地工事)を行ってください。工事はお買い上げの販売店または東芝生活家電ご相談センターにご相談ください。

ご注意

ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線には絶対に接続しないでください
法令で禁止されています。

■次の場合はアース工事(電気工事資格者によるD種接地工事)をするように法律で義務付けられています

- 湿気の多い場所
飲食店の厨房、土間、コンクリート床、酒・しょう油などの醸造・貯蔵所など
- 水気のある場所(漏電遮断器の取り付けも義務付けられています)
生鮮食品店の作業場など水の飛び散るところ、土間・地下室のように水滴が漏出したり結露するところ

注意

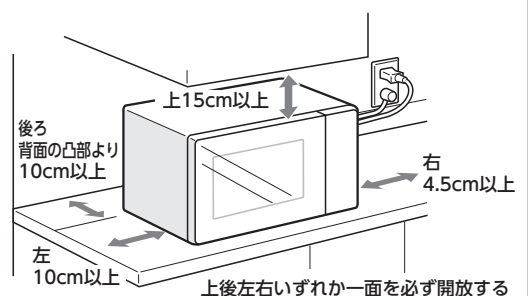


壁との間をあける

壁との間をあけて置く

過熱し火災の原因になります。製品の後方・側面には庫内からの排気口があります。

- 熱に弱い壁・家電製品・家具・コンセントがある場合は、右記の記載寸法以上にすき間をあけて置いてください。
また、コンセントが排気口の近くにあたり、汚れが気になるときも、排気が直接当たらないよう右記の記載寸法以上にすき間をあけて置いてください。
- 後方がガラスの場合、温度差で割れるおそれがあるので、20cm以上あけてください。
(あけても温度差によって割れることがあります)
- 排気による壁の汚れや結露が気になる場合は、壁との距離をあけるか、壁面にアルミホイルなどを貼ると壁の汚れや蒸気の影響を軽減できます。
(アルミホイルを製品に貼らないでください)



⚠ 注意



平らな
場所に置く

十分な強度を持った平らな場所に置く

強度が不十分なテーブルや傾いた場所に置くと、落ちたり倒れたりして、けがの原因になります。また、結露水が床にこぼれる場合があります。

もし地震などで転倒・落下した場合は、外部に損傷がなくてもそのまま使用せずお買い上げの販売店に点検を依頼してください。本体の落下・転倒を防ぐための転倒防止金具(別売り: 部品コード32582136)をお求めの方は販売店にご相談ください。

使用するとき

⚠ 警告



異常時は
使用を
中止する

異常・故障時には直ちに使用を中止する

発火や発煙、感電のおそれがあります。

〈異常・故障例〉

- 電源コードやプラグが異常に熱くなる。
- 使用中に異常な音や臭いがする。
- 自動的に電源が切れないことがある。
- スパーク(火花)または煙が出ることがある。
- とびらに著しいガタつきや変形がある。
- 触れると電気を感じる。

■すぐに電源プラグを抜いて、販売店に点検・修理を依頼してください。



禁止

調理中に、電源プラグを抜き差ししない

抜き差しすると火花が発生し、火災・感電の原因になります。



禁止

調理以外の目的には使用しない

過熱・異常動作して、やけど・けが・破損・火災の原因になります。衣類・布巾類・市販のレンジ加熱用湯たんぽ・哺乳瓶(消毒バッグ)・カイロ・風呂湯保温器などは加熱しないでください。



禁止

本体の上に、ものを置いたり、布などをかぶせたりしない

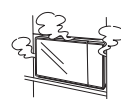
置いたものが過熱し、変形・焦げ・発火・火災の原因になります。



禁止

吸気口や排気口をふさがない

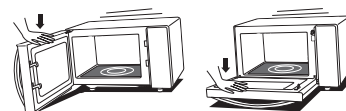
火災の原因になります。



禁止

とびらや庫内に、無理な力や衝撃を加えない とびらにぶらさがったり、乗ったりしない

変形し、電波漏れによる人体障害のおそれがあります。また、とびらにぶらさがったり、乗ったりすると、本体が転倒・落下し、けがをする原因になります。



禁止

取り扱いに不慣れな方やお子様だけで使わせたり、幼児の手が届くところで使わない

⚠ 注意



禁止

とびらにものをはさんだまま使用しない

電波漏れによる、人体障害や発火のおそれがあります。



禁止

庫内底面、とびらのガラスに物をぶつけたり衝撃を加えない

破損して、けがの原因になります。容器や茶わんの出し入れのときは、庫内底面やとびらのガラスにぶつけないようにしてください。ガラスに傷が付くと、使用中割れることがあります。



注意

とびらを開閉するときは、指のはさみ込みに注意する

やけど・けがの原因になります。



禁止

庫内で食品が燃えたときは、とびらを開けない

とびらを開けると酸素が入り、勢いよく燃え、火災の原因になります。

- 食品が燃えたときは次の手順で処置してください。
 - ①とびらを閉めたまま「とりけし」キーを押し、運転を停止する。
 - ②電源プラグを抜く。
 - ③本体から燃えやすいものを遠ざけ、鎮火するのを待つ。
 - ④鎮火しないときは、水か消火器で消火する。
- そのまま使用せず、販売店に点検を依頼してください。

レンジ加熱のとき

警告



食品は加熱しすぎない

食品の分量に対して、加熱時間が長いと発煙・発火・火災・やけどの原因となります。

- 手動で加熱する場合は13ページの設定時間の目安を参考に時間を控えめに設定し、様子を見ながら加熱してください。
- 特に、少量、油のついた食品(バター付きパン、フライなど)、水分の少ないもの(ポップコーンなど)、根菜類(さつまいも、にんじんなど)、高温になりやすいもの(あんまんなど)は気をつけてください。
- 自動であたためる場合は、分量、容器、ラップのかけかたなど取扱説明書の記載内容を守ってください。



100g未満の食品は自動調理で加熱しない

過加熱となり、食品が発火する原因になります。

- 手動で様子を見ながら、加熱してください。



缶詰・ビン詰・袋詰・レトルト食品・真空パック入り食品は移し替える 鮮度保持剤(脱酸素剤)は取り除く

発火・破裂・製品の破損・けが・やけどの原因になります。



ベビーフードや介護食をあたためるときは、加熱後かき混ぜてから温度を確認する やけどのおそれがあります。



ふたを取る
殻に切れ目を入れる

密閉性の高い容器のふたやせんをはずし、皮や殻・膜のある食品(いか、栗、ぎんなんなど)は、切れ目や割れ目を入れる

破裂して、衝撃による庫内底面の割れなどで、けが・やけどの原因になります。



飲みもの・油脂の多い食品は加熱しすぎない

取り出すとき・取り出したあとに突然沸騰し、やけどの原因になります。また、液体にインスタントコーヒーなどの粉末状のものを入れたときに、突然沸騰する場合があります。

- 飲みものは「1. あたため」キーで加熱しない。牛乳・コーヒー・お茶などは、「3. のみもの」キーを使ってあたためる。お酒・みそ汁・スープなどは、13ページの時間を参考に設定時間を控えめに手動で加熱する。
- 加熱しすぎたときは、そのまま2分以上おいて庫内で冷ましてから取り出す。
- 低めで広口の容器を使う。
- 分量・容器・置きかたなどは、取扱説明書に記載の内容を守る。
- 飲みものはあたためる前後にスプーンなどでよくかき混ぜる。

突沸



飲みもの：コーヒー、牛乳、豆乳、水、ヨーグルトなどの液体、みそ汁などの汁物

油脂の多い食品：生クリーム、バターなど

とろみのある食品：カレー、シチュー、粒入りスープなど



生卵やゆで卵(殻付き、殻なし)、目玉焼きは加熱しない

禁止

卵が破裂して衝撃による庫内底面の割れなどで、けが・やけどの原因になります。また、取り出したあとに、突然破裂することもあります。

- 卵はよく割りほぐしてから加熱してください。
- ゆで卵(おでん、八宝菜などの卵)のあたためなおしもしないでください。



注意



禁止

アルミホイル・金属容器・金串・金属のひも・アルミテープ・アルミなど金属で表面加工された容器や袋は使わない

火花が発生し、庫内底面やとびらのガラス割れなどでけがの原因になります。



禁止

庫内がカラのまま加熱しない

火花が出たり、本体や庫内が異常に加熱され、高温になり、やけどの原因になります。また長時間加熱や、少量の食品加熱後も庫内が熱くなり、やけどの原因になりますので終了直後は庫内に触れないでください。



高温注意

食器や食品を取り出すとき、ラップをはずすときなどは注意する

高温になっていたり、ラップをはずすときに蒸気が一気に出て、やけどの原因になります。

レンジ加熱のとき(つづき)

⚠ 注意



接触禁止

調理中や調理後は、高温部(庫内・とびら・本体・排気口)には触れない
高温のため、やけどの原因になります。



水ぬれ
禁止

調理中や調理後は、とびら・庫内などに水をかけたり、急に冷却しない
割れてけがをしたり、変形の原因となります。また、発生する蒸気やしぶきでやけどの原因になります。

お手入れ

⚠ 警告



プラグを抜き
冷めてから

本体のお手入れは電源プラグを抜き、本体が冷めてから行う
感電・けが・やけどの原因になります。



禁止

庫内やとびらに付着した油や食品カス、水分を残したまま加熱しない

電波が汚れた部分に集中して、火花の発生・発煙・発火などのおそれがあります。また、さびの原因になります。
・付着した場合は、本体が冷めてから必ずその都度拭き取ってください。

お願い

テレビ・ラジオ・アンテナ線などから4m以上離す

画像や音声などが乱れる原因になります。

製品の近くでは無線LAN機器の通信性能が低下することがあります

無線LAN機器の取扱説明書などをお読みのうえご使用ください。

熱や、蒸気から離す

炊飯器・ポットなどの蒸気が、本体や操作部にかからないようにしてください。故障することがあります。
蒸気がかからない位置でご使用ください。

本体の移動の際は気をつける

製品を左右から抱きかかえるように確実に持って、移動してください。

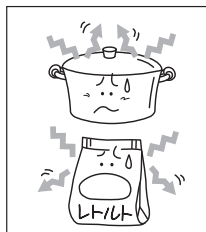
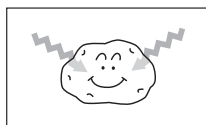
加熱のしくみ

レンジ加熱

電波で食品を加熱します。

・金串などの金属物は使えません。

電波の性質 ・電波が食品に当たると食品の水分に吸収され、水の分子にまさつ運動が起こります。その結果、熱が発生し、食品は内部と外部が同時に加熱されます。
・陶器や磁器などは電波を通しますが、金属製の容器や、アルミニウムのレトルトパックなどは電波を反射するので加熱できません。



レンジ調理のポイント

- 加熱時間は食品の分量にほぼ比例します。分量を2倍にした場合は、加熱時間も2倍弱に合わせてください。
- レンジ加熱は食品の水分が飛び、乾燥したり固くなりやすいので、時間は短めに設定して、様子を見ながら加熱してください。

使える容器・使えない容器

加熱する前に確認してください。間違えると発煙・発火のおそれがあります。

お願い ここに記載のない容器の使いかたについては、販売メーカーまたは容器の製造メーカーにお問い合わせください。

○ 使える容器

耐熱ガラス



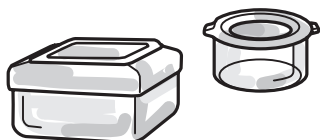
- ただし、加熱後急冷すると、割れることがあります。
- 「1. あたため」「2. 冷凍もの」では、ふたをはずしてください。

陶器・磁器



- ただし、下記の容器は使えません。
 - ・金銀を使った容器(火花が飛ぶ)
 - ・色絵が付いた容器(絵がはげる)
- 電波で容器が熱くなるものがあります。やけどに注意してください。

耐熱温度140℃以上のプラスチック容器



- ただし、下記のものは使えません。
 - ・油脂・糖分・塩分の多い食品、ケチャップなど(高温になる)
 - ・密閉性の高いふた、熱に弱いふた
 - ・「電子レンジ使用可」表示のない容器
 - ・アルミなど金属で表面加工された容器や袋
 - ・市販のレンジゆで卵器
- 「1. あたため」「2. 冷凍もの」では、ふたをはずしてください。

耐熱温度140℃以上のラップ



- ただし、油分の多い料理は高温になるので使えません。
- ポリエチレン製のラップは、溶けて燃えることがあるので使えません。

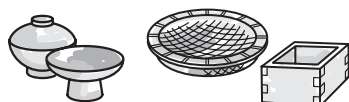
× 使えない容器

耐熱性のないガラス



- カットガラスや強化ガラスなどは使えません。
- ガラスの厚みの変化が大きなもの、ひずみのあるものも使えません。

漆器、木・竹・紙製品



- 塗りがはがれたり、ヒビが入るおそれがあります。
- スパーク(火花)が発生したり、燃えたりすることがあります。
- ただし、耐熱加工を施した紙・オープンシート・クッキングシート・ケーキ用硫酸紙はパッケージの耐熱温度に従って使うことができます。

アルミニウム・ホーローなどの金属容器、金網、金串、アルミホイル

- 特に、金網・金串は火花が飛ぶことがあります。
- ただし、アルミホイルはレンジ(解凍・お酒)で部分的に使うこともあります。本書の記載に従って、使ってください。

耐熱温度140℃未満のプラスチック容器・ラップ

- 溶けて変形したり、割れたりすることがあります。
- ポリエチレン・スチロール・フェノール・メラミン・ユリア樹脂などは使えません。

各部のなまえとはたらき

操作部

あたため / スタート 兼用キー

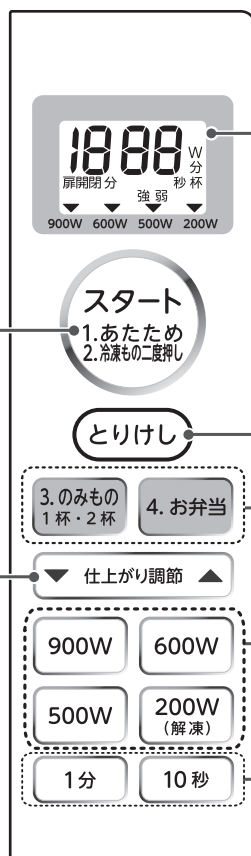
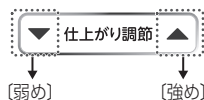
ごはんやおかずのあたため (8～9 ページ) と、調理を開始するときに使います。

- ・キーを押すとすぐに加熱が始まります。
- ・「1. あたため」「2. 冷凍もの」とはとびらを開閉してから 1 分以上たつと動作しません。
(「扉開閉」が表示されます)
- ・もう一度、とびらを開閉してからキーを押してください。

仕上がり調節キー

レンジ調理中の時間調節と、あたため、自動メニューの仕上がり調節に使います。

あたため、自動メニューの仕上がり調節
メニュー選択後、またはスタート後10秒以内に押して設定する
▼と▲の部分がキーになっています。
真ん中を押しても反応しません。



表示部

時間や調理内容などを表示します。

とりけしキー

キーを押し間違えたときや、途中で調理を止めるときに押します。

自動メニューキー

時間設定が不要なメニューです。キーを選択し、スタートキーを押すだけで自動的に加熱します。
(10～11 ページ)

レンジキー

レンジの出力設定に使います。
(12～13 ページ)

時間合わせキー

レンジの時間設定に使います。
(12～13 ページ)

準備と確認

使える容器・使えない容器 / 各部のなまえとはたらき

本体

庫内の汚れはすぐに拭き取ってください。

【正面】 ER-SS17A

排気口(背面・側面)
14 ページ参照

庫内灯

庫内

とびら

ハンドル

安全上の注意ラベル

キャビネット

表示部

定格銘板

操作部

形名表示

※安全スイッチ検出用の突起です。物などを当てないでください。
破損すると製品が正しく動作しない原因になります。

【正面】 ER-SS17B

とびら

ハンドル

【背面】

電源プラグ

電源コード

吸気口

アースねじ

アース線

取り付けかた (2ページ参照)

時間・出力を合わせずに自動調理

ごはんやおかずを あたためる

★「1. あたため」「2. 冷凍もの」キーで一度にあためられる分量は100～300gです。

★室温・冷蔵のごはんやおかずはキーを一度押して「1. あたため」、冷凍したごはんやおかずはキーを二度押して「2. 冷凍もの」を選びます。

警告



禁止

100g未満の食品は自動調理で加熱しない

過加熱となり、食品が発火する原因になります。



禁止

食品は加熱しすぎない

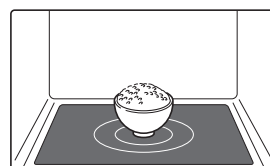
飲みものは「1. あたため」「2. 冷凍もの」で加熱しない

発煙・発火・突然沸騰する原因になります。

例：ごはんをあたためる

1 食品を庫内中央に置く

- 食品の量にあった耐熱性の容器に入れ、庫内中央に置きます。



2

スタート
1. あたため
2. 冷凍もの二度押し

を押す 加熱開始

- とびらを閉めて1分以内に押してください。

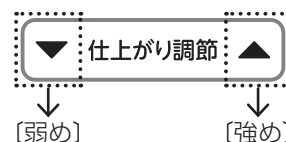
冷凍ごはんや冷凍おかずは、スタートを押す

スタート
1. あたため
2. 冷凍もの二度押し

押すごとに「1. あたため」 ↔ 「2. 冷凍もの」と変わります。(5秒間)

■ お好みの仕上がりを選ぶには

→スタート後10秒以内に「仕上がり調節」の「▼」か「▲」を押して加減する

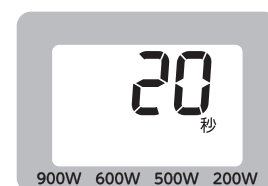


▶途中で残り時間を表示



▶ブザーが3回鳴り、加熱終了

- 食品を取り出し忘れるとブザーが1分おきに鳴ります。(5分間) とびらを開けるか、「とりけし」キーを押すと止まります。
- 容器が熱くなっているので、気をつけて取り出してください。
- 加熱終了後、電気部品を冷却するためファンが動作することがあります。ファンが動作中は、電源プラグを抜かないでください。ファンが動作中でも続けて加熱できます。



■ 加熱終了後さらに加熱したいとき

→手動の「レンジ」で出力と時間を設定して様子を見ながら行う

自動調理では食品の種類や状態によってはうまくあたたまらない場合があります。

加熱を繰り返し行くと、電気部品保護のため、自動的に出力を下げる場合があります。仕上がりかぬるい場合は手動レンジで様子を見ながら加熱時間を追加してください。

上手にあためるために

あたためる食品と使用キー

食品名	使用キー	ラップ	参照ページ
ごはん	1. あたため	—	—
冷凍ごはん	2. 冷凍もの	する	—
野菜の煮物	1. あたため	—	—
煮魚	1. あたため	する	—
シュウマイ	1. あたため	する	—
中華・肉・あんまん	手動「レンジ」	する	12～13ページ
シュウマイ（冷凍）	2. 冷凍もの	する	—
牛乳	3. のみもの	—	10ページ
酒かん	手動「レンジ」	—	12～13ページ
コンビニ弁当	4. お弁当	—	11ページ

●室温や冷蔵の食品はラップをしないで加熱する (ラップをする食品もあるので上表を参考にしてください)

- ・ごはん…かたまりをほぐし、冷蔵のごはんなど固めものは水を振りかけて加熱します。
- ・煮物…煮汁を切って加熱します。
煮魚など身がはじけるおそれのあるものは、ラップをします。
- ・むしもの…パサついているときは霧を吹いて加熱します。

●冷凍した食品は器にのせて、ラップをして加熱する

- ・冷凍ごはん…ラップに包んである冷凍ごはんは、皿の上のにのせて加熱します。

冷凍ごはん150g（茶わん約1杯分）



平らにして、ラップでぴったり包む

- ・丸めたり、大量のごはんをひとまとめにすると、中まであたたまりにくくなります。
- ・保存容器や保存袋などに入れると、「1. あたため」「2. 冷凍もの」ではうまくあたまりません。

●ラップをかけるときはゆったりとかけてください。

「1. あたため」「2. 冷凍もの」は、食品の蒸気をセンサーが検知して加熱を終了させます。ラップをきつくかけると蒸気を検知できず、加熱しすぎる場合があります。（加熱のしすぎは、発煙・発火の原因になります）
ラップをするときは、ゆとりをもたせて軽くかぶせてください。また、密閉容器などのふたははずしてください。

■次の食品は手動の「レンジ」であたためてください。（12～13ページ参照）

自動であためるとうまくあたまらないことがあります。

- ・みそ汁、スープなどの汁物
- ・カレー、シチューなどのとろみのあるもの
- ・中華・肉・あんまん、お酒、冷凍ゆで野菜
- ・市販の冷凍食品…パッケージの記載を参考に、様子を見ながらあたためてください。

■牛乳、コーヒー、お茶などは、「3. のみもの」キーであたためてください。（10ページ参照）

お願い

次のものは「1. あたため」や「2. 冷凍もの」であたためないでください。

- ・量の少ないもの
- ・油のついた食品（バター付きパン、フライなど）
- ・水分の少ないもの（ポップコーン・干もの・落花生など）、乾燥しているもの
- ・根菜類（さつまいも、にんじん）
- ・高温になりやすいもの（あんまんなど）
- ・パセリ・青じそなどの乾燥

時間・出力を合わせずに自動調理

飲みものをあたためる

飲みもの(牛乳、コーヒー、お茶、お水など)をあたためます。お酒は手動の「レンジ」であたためます。(12～13ページ参照)

⚠ 警告



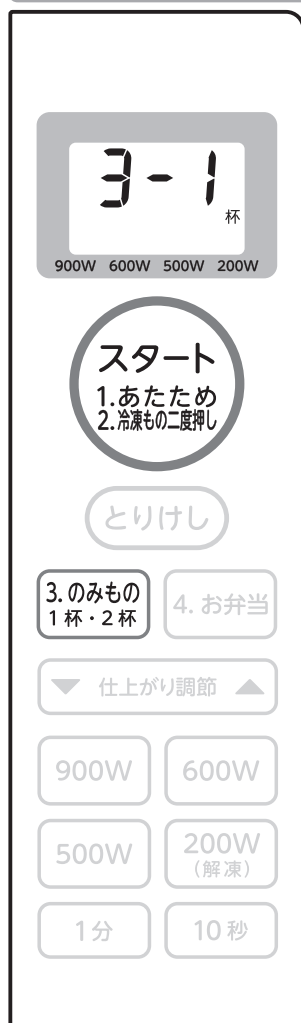
飲みもの・油脂の多い食品は加熱しすぎない

飲みもの(コーヒー、牛乳、豆乳、水)などの液体は、取り出すときに突然沸騰し、やけどの原因になります。

禁止

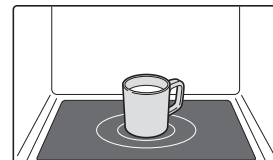
また、容器が熱くなり、割れたり溶ける原因になります。

・飲みものはあたためる前後にスプーンなどでよくかき混ぜてください。



1 食品を庫内中央に置く

- ・一度にあたためられる量…1杯、2杯
- ・容器は庫内中央に置きます。
2杯の場合は中央に寄せて置いてください。



2 3. のみもの 1杯・2杯 を押して、杯数を選ぶ

- ・押すごとに 3-1杯 ↔ 3-2杯 とメニューが変わります。
(過加熱の原因となりますので、杯数を選択するときに、よく確認してください)

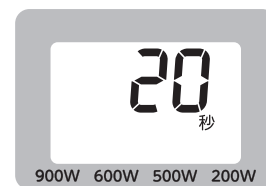
3 スタート 1. あたため 2. 冷凍もの二度押し を押す 加熱開始

▶残り時間を表示



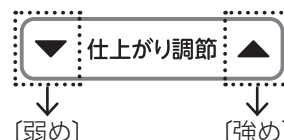
▶ブザーが3回鳴り、加熱終了

- ・食品を取り出し忘れるとブザーが1分おきに鳴ります。(5分間)とびらを開けるか、「とりけし」キーを押すと止まります。
- ・容器が熱くなっているので、気をつけて取り出してください。
- ・加熱終了後、電気部品を冷却するためファンが動作することがあります。ファンが動作中は、電源プラグを抜かないでください。ファンが動作中でも続けて加熱できます。



■好みの仕上がりを選ぶには

→メニュー選択後、またはスタート後10秒以内に「仕上がり調節」の「▼」か「▲」を押して加減する



■加熱終了後さらに加熱したいとき

→手動の「レンジ」で出力と時間を設定して様子を見ながら行う

上手に使うコツ

- あたためる杯数に合わせてメニューを設定します。
- 1杯は下表の分量を基準としています。基準より少ない場合は、沸騰するおそれがありますので、手動の「レンジ」で様子を見ながらあたためてください。(12～13ページ)
- 取り出すとき、飲みものが突然沸騰し、飛び散ってやけどの原因になることがあります。
 - ・あたためる前後に飲みものをスプーンなどでよくかき混ぜてください。
 - ・あたためたあとは、少し時間をおいて取り出してください。
- ラップなどのおおいはしません。
- 牛乳は冷蔵庫から出したてのものをあたためてください。
- 牛乳びんでの加熱はできません。

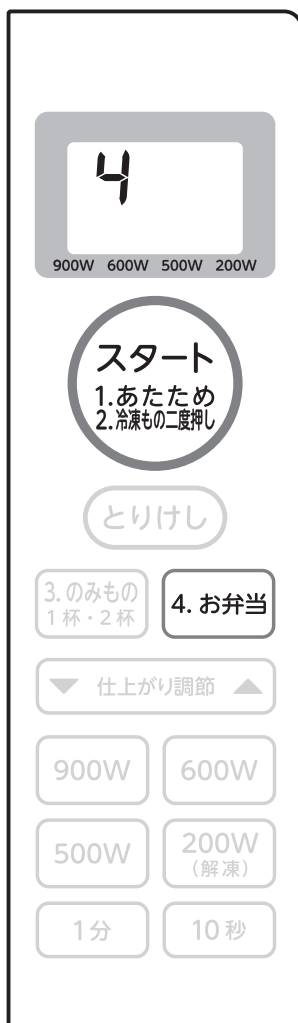
飲みものの種類	1杯分の分量
牛乳	200ml(冷蔵)
コーヒー	150ml
お茶	180ml
水	180ml

容量の単位：ml=cc

時間・出力を合わせずに自動調理

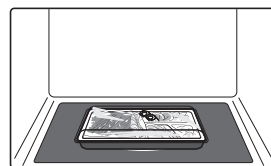
お弁当をあたためる

コンビニエンスストアやスーパーマーケットなどで購入したお弁当をあたためます。



1 お弁当を庫内中央に置く

- 一度にあためられる量…一人分(お弁当1個)
- お弁当は包装をはずさずに、庫内中央に置いてあたためます。(しょうゆやマヨネーズなどの調味料は必ず取ってください)



2 4. お弁当 を押す

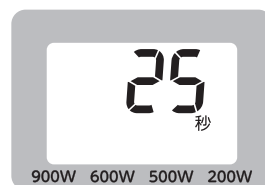
3 スタート を押す 加熱開始

▶残り時間を表示



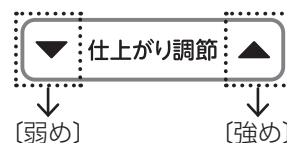
▶ブザーが3回鳴り、加熱終了

- 食品を取り出し忘れるとブザーが1分おきに鳴ります。(5分間)とびらを開けるか、「とりけし」キーを押すと止まります。
- 加熱終了後、電気部品を冷却するためファンが動作することがあります。ファンが動作中は、電源プラグを抜かないでください。ファンが動作中でも続けて加熱できます。



■お好みの仕上がりを選ぶには

→メニュー選択後、またはスタート後10秒以内に「仕上がり調節」の「▼」か「▲」を押して加減する



■加熱終了後さらに加熱したいとき

→手動の「レンジ」で出力と時間を設定して様子を見ながら行う

加熱後の弁当の状態

弁当の種類によって、あたため具合が異なります。

- 揚げ物は熱めに、厚みのある食品は少しぬるめに仕上がる場合があります。
- 漬けものなどもあたためます。

あたためることができる弁当

コンビニエンスストアやスーパーマーケットで売られているもの
(「レンジ加熱」の表記のあるもの)

ごはん・おかずが分かれている幕の内弁当など



あたためることができない弁当

お弁当屋さんの持ち帰り弁当
(「レンジ加熱」の表記のないもの)

どんぶりもの

浅い容器に入っている焼きそばやスパゲティなど

から揚げ・シュウマイなどの小分けのお惣菜

おにぎり



上手に使うコツ

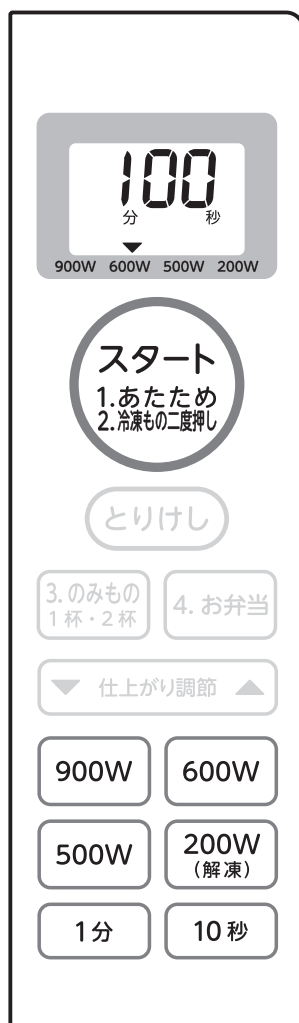
- 1個ずつあたためる
 - 2個同時に入れたり、上下に積み重ねると上手にあたためません。
- 購入後、なるべく早めにあたためる
 - 買ってきたお弁当(食品の温度は約20℃)をすぐにあたためます。
- 容器を確認する
 - コンビニエンスストアやスーパーマーケットで売っているお弁当以外は電子レンジ加熱に向かない容器(発泡スチロールなど)を使っている場合があるため、あたためないでください。
- 卵は加熱しない
 - ゆで卵や目玉焼きが丸のまま入っている場合は、破裂するおそれがあるため必ず取り出してください。

調理のしかた

飲みものをあたためる／お弁当をあたためる

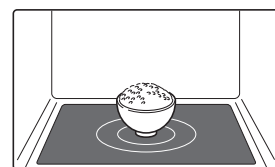
出力・時間を合わせて

レンジで加熱する



1 食品を庫内中央に置く

- 食品の量にあった耐熱性の容器に入れ、庫内中央に置きます。

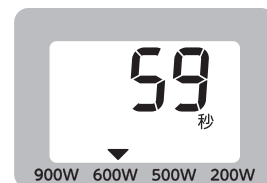


2 900W 600W 500W 200W (解凍) を押して出力を設定する

3 1分 10秒 を押して時間を合わせる

- 最大設定時間
レンジ900W：3分、レンジ600W、500W：15分、レンジ200W：30分

4 スタート 1. あたため 2. 冷凍ものの二度押し を押す 加熱開始



▶ブザーが3回鳴り、加熱終了

- 食品を取り出し忘れるとブザーが1分おきに鳴ります。(5分間)とびらを開けるか、「とりけし」キーを押すと止まります。
- 容器が熱くなっているので、気をつけて取り出してください。
- 加熱終了後、電気部品を冷却するためファンが動作することがあります。ファンが動作中は、電源プラグを抜かないでください。ファンが動作中でも続けて加熱できます。

■途中で加熱時間を増減したいとき

→加熱中に「仕上がり調節」の「▼」か「▲」を押して加熱時間を増減する
1回の調理で設定できる時間は、増やせる時間を含め、最大設定時間までです。

●食品に合わせてラップを使う

- あたためはラップ不要ですが、メニューによってはラップをかけて加熱します。
詳しくはレンジ加熱の設定時間の目安を確認してください。

加熱を繰り返し行くと、電気部品保護のため、自動的に出力を下げる場合があります。
仕上がりかめる場合は手動レンジで様子を見ながら加熱時間を追加してください。

野菜のゆでかた

■根菜：じゃがいも／さといも／かぼちゃなど

- 水洗いして水がついたまま平皿にのせ、平皿ごとラップをして加熱します。

丸ごとゆでるとき

- 平皿ごとラップをして加熱し、加熱後は庫内から取り出し、ラップをしたまましばらく(約5分)おいておきます。(食品が乾きやすいので、ラップは取らずにおいておきます)
- 2個以上のときは仕上がりと同じにするため、大きさをそろえます。
- 丸くて高さのある大きなじゃがいもは長めに加熱したり、途中で上下をひっくり返したりしてください。

切ってゆでるとき

- 皮をむいて大きさをそろえて切り、水をふって平皿にのせ、平皿ごとラップをして加熱します。



■葉菜：ほうれん草／ブロッコリー／キャベツなど

- 水洗いして食品のみをラップで包み、平皿にのせて加熱します。

- 葉と茎を交互に重ね、太い茎には十文字に包丁を入れて、ラップで包みます。
- できるだけ幅広く包み、平皿からはみ出さないようにします。
- 量が多いときは半分に分けてラップで包みます。



レンジ加熱の設定時間の目安

⚠ 警告



食品は加熱しすぎない

発煙・火災の原因となります。

- 禁止
- ・時間を控えめに設定し、調理中、様子を見ながら加熱してください。



飲みもの・油脂の多い食品などは加熱しすぎない

取り出すときに突然沸騰し、やけどの原因になります。

- 禁止
- ・飲みものはあたためる前後にスプーンなどでよくかき混ぜてください。
 - ・時間を控えめに設定し、調理中、様子を見ながら加熱してください。

出力と時間を設定する調理時間の目安です。加熱時間は食品の分量にほぼ比例します。分量を半分にしたら、加熱時間も約半分にしてください。

- 容量の単位：ml = cc
- 常温：約20℃、冷蔵：約10℃、冷凍：約-20℃

注意！



レトルトパウチ食品や缶詰などはあたためないでください。発火・破裂・製品の破損・けが・やけどの原因になります。

- ・市販の冷凍食品や加工品は、パッケージの記載内容を参考にして様子を見ながらあたためてください。
- ・ポップコーンはパッケージの加熱方法に従って、必ず近くにいて様子を見ながら調理してください。
- ・ミックスベジタブルの少量でのあたためはしないでください。火花が出たり、発煙・乾燥することがあります。

あたため (レンジ600W)

メニュー名	分量	目安時間	ラップ
ごはん	1杯(150g)	約1分	—
スープ・みそ汁	1杯(150ml)	約1分30秒	—
野菜の煮物	150g	約1分20秒	—
カレー・シチュー	200g	約2分10秒	する
シュウマイ	100g(9個)	約50秒	する
中華・肉・あんまん	1個(90g)	約40秒	する

飲みもの (レンジ600W)

メニュー名	分量	目安時間	ラップ
牛乳(冷蔵)	1杯(200ml)	約1分40秒	—
酒かん(常温)	とっくり1本* (160ml)	約50秒	—
水(常温)	1杯(200ml)	約1分20秒	—
コーヒー(常温)	1杯(150ml)	約1分10秒	—

- *加熱ムラを小さくしたいときは、とっくりの首の細い部分をアルミホイルできちんと巻いてください。
- ・アルミホイルが庫内壁面・底面・とびらに触れると火花が出たり、とびらのガラスが割れることがありますので、触れないよう注意してください。

冷凍ゆで野菜の解凍 (レンジ600W)

メニュー名	分量	目安時間	ラップ
枝豆	100g	約1分50秒	する
さといも	100g	約1分50秒	する
かぼちゃ	150g	約3分	する

野菜のゆでもの (レンジ600W)

メニュー名	分量	目安時間	ラップ
じゃがいも	1個(150g)	約3分40秒	する
かぼちゃ	150g	約2分30秒	する
にんじん	100g	約2分	する
ほうれん草	100g	約1分50秒	する
キャベツ	100g	約2分	する
ブロッコリー	100g	約1分40秒	する

冷凍した食品のあたため (レンジ600W)

メニュー名	分量	目安時間	ラップ
ごはん(冷凍)	1杯(150g)	約2分30秒	する
カレー・シチュー(冷凍)	200g	約6分	する
シュウマイ(冷凍)	100g(7個)	約2分	する
中華・肉・あんまん(冷凍)	1個(90g)	約1分30秒	する

- ・カレーなどトロみのある食品は、あたためたら全体を混ぜ合わせてください。

冷凍の肉・さしみの解凍 (レンジ200W)

メニュー名	分量	目安時間	ラップ
肉	100g	約2分	—
	200g	約3分30秒	—
	300g	約5分	—
さしみ	100g	約1分	—
	200g	約1分50秒	—
	300g	約2分30秒	—

- ・ラップやふたをしないで、発泡トレイのまま解凍してください。発泡トレイがない場合は、平らなお皿に置いてください。

肉や魚の解凍のコツ

● 解凍する食品の厚さ、複数を解凍するとき。

- ・上手に解凍できる厚さは3cmまで。厚さは均一にして、周囲に薄いところがないように準備します。同時に2つ以上解凍するときは同じ種類、同じ大きさのものをそろえます。

● アルミホイルで、変色や煮えを防ぐ。

- ・魚など不均一な形の場合に、薄い・細い部分に巻いて、加熱しすぎを防ぎます。
※アルミホイルはきちんと巻いてください。アルミホイルが庫内壁面・底面・とびらに触れると、火花が出たり、とびらのガラスが割れるおそれがありますので触れないように注意してください。

● 解凍する食品の形状や種類によっては、部分的に煮えたり、かたいところが残ったりすることがあります。



お手入れのしかた

お手入れはすぐにこまめにがポイントです

警告



本体のお手入れは、電源プラグを抜き、本体が冷めてから行う

プラグを抜き冷めてから
感電・けが・やけどの原因となります。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因になります。

ぬれ手禁止



庫内に付着した油や食品カス、水分を残したまま加熱しない

禁止
電波が汚れた部分に集中して、火花の発生・発煙・発火などのおそれがあります。また、さびの原因になります。

・付着した場合は、本体が冷めてから必ずその都度拭き取ってください。

次のものは使わないでください

損傷、変色、変形、発煙、発火、さびなどの原因になります。また、汚れが落ちにくくなります。



禁止



ベンジン
シンナー



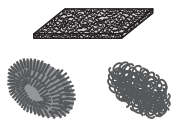
オーブンクリーナー
粉末クレンザー
漂白剤



住宅家具用洗剤
(アルカリ・酸性など)



可燃性ガス(LPGなど)入り
スプレー洗剤



硬い部分
(研磨剤入り不織布)は
使わないでください。
スポンジ部で洗ってください。

たわし・金属たわし
硬めのスポンジ、研磨剤入りナイロンたわし



熱湯

キャビネット・とびら

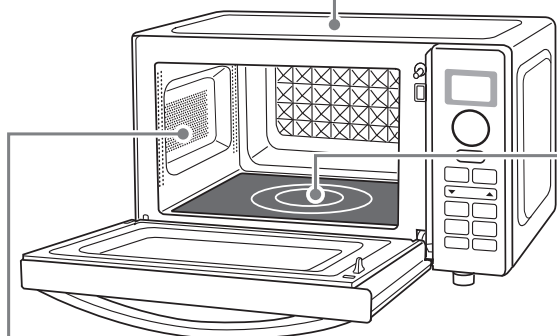
かたくしぼった、ぬれ布巾で拭く

- ・ひどい汚れは薄めた台所用洗剤(中性)をしみ込ませた布巾で拭き取り、必ず洗剤分を拭き取ってください。

お願い

- ・水をかけないでください。
さびたり故障したりすることがあります。

※ER-SS17Aのイラストで説明をしています。
お手入れのしかたはER-SS17Bも同じです。



庫内底面

庫内の汚れはぬれ布巾ですぐ拭き取る。

- ・汚れが落ちにくいときは、汚れた部分に液体クレンザー(クリームクレンザー)を付け、2分ほどおいて、丸めたラップでこすって汚れを落としてください。
そのあと、ぬれ布巾で洗剤をよく拭き取ってください。

お願い

- ・周囲のシリコンパッキンや庫内塗装面は傷が付くのでこすらないでください。
- ・金属たわしや先のとがったものでこすったり、衝撃を与えたりしないでください。傷付いたり、割れることがあります。

庫内・とびらの内側

かたくしぼった、ぬれ布巾で拭く。

- ・落ちにくい汚れは、ぬれた布巾を汚れの上に置いて30分ぐらいふやかしてから拭きます。汚れがひどい場合は薄めた台所用洗剤(中性)をつけた布で拭き取り、ぬれた布巾で洗剤をよく拭き取ってください。

調理後に結露した水分は、冷めてから乾いた布で必ずその都度拭き取る。

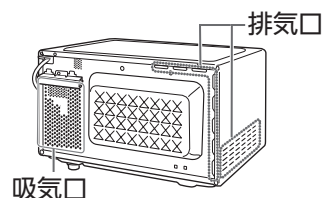
お願い

- ・たわしやフォークなど先のとがった物でこすらないでください。
傷付いたり、割れる原因になります。

吸気口・排気口

ほこりを拭き取る

- ・換気できずに、故障の原因になります。



修理を依頼される前に

次のような場合は故障ではありません。

現 象	理由(処置)
まったく動かない	<ul style="list-style-type: none">・ 停電ではありませんか。・ 電源プラグが抜けていませんか。・ ご家庭のヒューズやブレーカーが切れていませんか。・ とびらがきちんと閉まっていますか。途中でとびらを再開しませんでしたか。・ 電源が切れた状態で、キー操作をしていませんか。 一度とびらを開けると電源が入ります。
調理中、調理後に音(ファン)がしたり、しなかったりする	<ul style="list-style-type: none">・ 電気部品などを冷却するファンの音で故障ではありません。・ 調理後、冷却ファンが回ることがありますが故障ではありません。 冷却ファン動作中は、電源プラグを抜かないでください。
調理中、「カチカチ」と音がする	<ul style="list-style-type: none">・ 製品内部のスイッチ切り換え音です。故障ではありません。
調理の開始時および途中に、「チリチリ」や「ジー」という連続音がする	<ul style="list-style-type: none">・ レンジ調理時の動作音で故障ではありません。
電源プラグをコンセントに差し込んでも、何も表示しない	<ul style="list-style-type: none">・ とびらを閉じた状態で、電源プラグをコンセントに差し込んだだけでは電源は入りません。 一度とびらを開けると、電源が入り表示部に「0」が表示されます。
調理中に火花が出た	<ul style="list-style-type: none">・ 金属容器、金網、金串を使用していませんか。・ 金・銀粉、金・銀箔使用の容器は火花が飛ぶことがあります。・ 庫内が汚れていませんか。電波が汚れた部分に集中して、火花が出ることがあります。 汚れは拭き取ってください。(14ページ参照)
食品があたたまらない。 食品があたたまりにくい	<ul style="list-style-type: none">・ デモモードになっていませんか。 16ページの「d表示」を参照して解除してください。 <ul style="list-style-type: none">・ 食品が金属容器・アルミホイルなどでおおわれていませんか。・ 加熱を繰り返す行くと、電気部品保護のため、自動的に出力を下げる場合があります。
加熱後、 庫内やとびら内側に水滴が付着する 水滴が落ちる	<ul style="list-style-type: none">・ 食品から出た水蒸気で水滴が付着することがあります。 水滴は冷めてから、乾いた布で拭き取ってください。 また、設置面が弱かったり傾いていると、水滴が落ちやすくなります。 十分な強度を持った平らな場所に置いてください。

こんなときは

お手入れのしかた／修理を依頼される前に

修理を依頼される前に次のことを点検してください。

現 象	理由(処置)
「1. あたため」「2. 冷凍もの」キーを押しても加熱されない	<ul style="list-style-type: none">・ とびらを閉め、1分をすぎしてから「1. あたため」「2. 冷凍もの」キーを押していませんか。 (一度とびらを開閉してから、キーを押してください) <ul style="list-style-type: none">・ とびらがきちんと閉まっていますか。
「3. のみもの」「4. お弁当」キーを押しても加熱されない	<ul style="list-style-type: none">・ 「3. のみもの」「4. お弁当」キーを押したあと、「スタート」キーを押してください。
ブザーが鳴らない	<ul style="list-style-type: none">・ ブザー音を消す設定になっていませんか。ブザー音の消しかたと戻しかた(16ページ)を参照して、設定しなおしてください。
ブレーカーが落ちた	<ul style="list-style-type: none">・ 家庭の電気容量(電力会社との契約容量A)以上で電気製品を使用していませんか。 他の必要のない電気製品の電源をOFFにして、ブレーカーを復帰させてから再度使用してください。

あたため・解凍が上手にできないとき

項目	こんなときは	理由(処置)
ごはん・おかずのあたため	食品があたたまらない	<ul style="list-style-type: none"> ●食品が金属容器・アルミホイルなどで覆われていませんか。 ●加熱を繰り返す行くと、電気部品保護のため、自動的に出力を下げる場合があります。
	「1. あたため」であたためると熱くなりすぎる	●あたためる分量が少なすぎませんか。100g未満の食品は、手動の「レンジ」で様子を見ながら加熱してください。
	ごはんなどの食品がパサつく	●あたためる前に霧を吹いたり、水を少しかけたりすると、しっとり仕上がります。
	煮物・煮魚などの煮汁が飛び散る	●汁気を切って、深めの容器に入れてあたためてください。
	冷凍ごはんがあたたまらない	●「2. 冷凍もの」であたためていますか。「1. あたため」ではうまくあたためられません。
	冷凍食品があたたまらない	●市販の冷凍食品は手動の「レンジ」で様子を見ながらあたためてください。
	フライや天ぷらがベチョッとする	●キッチンペーパーを敷いた皿の上に並べ、手動の「レンジ500W」で時間を控えめに加熱してください。
のみもの	牛乳、お茶、コーヒーが熱くなりすぎる 牛乳、お茶、コーヒーがぬるい	<ul style="list-style-type: none"> ●「3. のみもの」であたためていますか。「1. あたため」ではうまくあたたまりません。 ●あたためる杯数によって「3-1杯」「3-2杯」を選んでください。 ●あたためる量が基準の分量より少なかったり、多かったりしていませんか？
解凍	うまく解凍できない	<ul style="list-style-type: none"> ●うまく解凍できる厚さは3cmまで。厚さは均一にし、細い部分や魚の尾などにはアルミホイルを巻いてください。 ●同時に2つ以上を解凍するときは、同じ種類のもので同じ大きさに。 ●解凍するものによって、部分的に煮えたり、かたいところが残ったりすることがあります。

こんな表示が出たときは

表示例	理由(原因)	処置
	●「1. あたため」「2. 冷凍もの」のとき、とびらを閉め、1分すぎしてから「あたため/スタート」キーを押すと表示します。	●もう一度とびらを開閉し、1分以内に「あたため/スタート」キーを押してください。
	●デモモードが設定されていると、「d」を表示します。デモモードが設定されていると表示が次々と変わりますが、加熱は行われません。	●「とりけし」キーをピッピッとブザー音がするまで(約3秒)押したあと、もう一度「とりけし」キーを押してください。さらに、「とりけし」キーをピッピッとブザー音がするまで(約3秒)押したあと、もう一度「とりけし」キーを押してください。

H〇〇表示のときは

表示例	理由(原因)	処置
	●製品が故障している場合があります。	●電源プラグを抜き、販売店または東芝生活家電ご相談センターへ表示番号をお知らせください。

ブザー音の消しかたと戻しかた

■ブザー音を消す

1 「0」表示中に **とりけし** を
ピッピッとブザー音がするまで(約3秒)押す

2 続いて、仕上がり調節 **▼** を押す

■ブザー音を鳴るように元に戻す

ブザー音を消した操作と同じ操作を行うことにより、ブザー音が出るようになります。

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝生活家電ご相談センター

フリーダイヤル

0120-1048-76

受付時間：月～土 9:00～18:00 日・祝日 9:00～17:00

* 当社指定休業日を除く

携帯電話・PHSなど **0570-0570-33** (通話料：有料)

FAX **022-224-6801** (通信料：有料)

※お電話をいただく際には、番号をよくお確かめのうえ、
おかけ間違いのないようお願いいたします。

- お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社へ、お客様の個人情報を提供する場合があります。

保証書 (別添)

- この東芝電子レンジには、保証書を別途添付しております。
- 保証書は、必ず「お買い上げ日、販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのと、大切に保管してください。
- この東芝電子レンジの保証期間は、お買い上げいただいた日から1年です。ただし発振管(マグネトロン)は2年です。その他、詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間中の故障は、保証書の内容に基づき、無料修理となります。無償商品交換ではありません。

補修用性能部品の保有期間

- 電子レンジの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせていただきます。
- 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは

- 15～16ページに従って調べていただき、なお異常があるときは、使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。

出張修理

■ 保証期間中は

- 保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。
※一般家庭用以外(たとえば、業務用・車両・船舶への搭載)に使用された場合の故障・損傷は有料です。

■ 保証期間が過ぎている場合は

- 修理すれば使用できる場合は、ご希望によって有料で修理させていただきます。

■ 修理料金のしくみ

修理料金は技術料・部品代・出張料等で構成されています。	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	商品のある場所へ、技術員を派遣する料金です。

■ ご連絡いただきたい内容

品名	電子レンジ
形名	ER-SS17A、ER-SS17B
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども合わせてお知らせください
お名前	
電話番号	
訪問希望日	
便利メモ	電話番号

お買い上げ店名を記入されておくと便利です。

■ ご転居のときは

- この東芝電子レンジは、電源周波数50Hz/60Hz共用です。周波数の異なる地域に、ご転居されてもそのままお使いいただけます。

こんなときは

あたため、解凍が上手にできないとき・こんな表示が出たときは・ブザー音の消しかたと戻しかた / 保証とアフターサービス


仕様

電源	AC100V 50/60Hz共用		
定格消費電力	1350W(13.9A)		
高周波出力	900W※1・600W・500W・200W相当 出力切換		
発振周波数	2450MHz		
外形寸法	ER-SS17A：458(幅)×354(奥行)×281(高さ)mm		
	ER-SS17B：458(幅)×349(奥行)×281(高さ)mm		
庫内有効寸法	ER-SS17A：273(幅)×315(奥行)×181(高さ)mm		
	ER-SS17B：273(幅)×323(奥行)×181(高さ)mm		
質量(重量)	ER-SS17A：約10kg		
	ER-SS17B：約9kg		
コードの長さ	1.5m	総庫内容量	17L
区分名	A	電子レンジ機能の年間消費電力量	59.9kWh/年
年間待機時消費電力量	0.0kWh/年	年間消費電力量	59.9kWh/年
タイマー時限	レンジ900W：3分 レンジ600W・500W：15分 レンジ200W：30分		

※1 定格高周波出力900Wは短時間高出力機能(最大1分30秒)であり、定格連続高周波出力は600Wです。600Wへは自動的に切り換わります。

- 実際にお使いになるときの消費電力量は、使用回数や使用時間、食品の量、周囲温度などによって変化しますので、あくまで目安としてご覧ください。
- コンセントに電源プラグを差し、とびらが閉まった状態で表示部が消灯しているときの消費電力は「0」Wです。
- 年間消費電力量は省エネ法・特定機器「電子レンジ」測定方法による数値です。(区分名も同法に基づいています)
- 総庫内容量とはJISの規定に基づいて算出された容量のことです。

この製品は日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.



愛情点検

長年ご使用の電子レンジの点検をぜひ！

このような症状はありませんか。

- 電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
- キーを押し、調理を開始しても食品が加熱されない。
- 自動的に切れないことがある。
- 使用中に異常な音や臭いが出ることがある。
- 庫内の壁面が汚れ、スパーク(火花)または煙が出ることがある。
- とびらに著しいガタや変形がある。
- 触ると電気を感じる。
- その他の異常や故障がある。

ご使用中 止

故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理を依頼してください。(技術のあるサービスマン以外の方は絶対にキャビネットをはずさないでください)

東芝ライフスタイル株式会社

キッチン・リビング事業部

〒210-8543 神奈川県川崎市川崎区駅前本町25-1

THT-TECB(C)-1